

第 2 回 冬期道路交通確保対策検討委員会の主な意見

(1) 全般に係る意見

- ・ 目標をどこまで設定するのかを明確にしておく必要がある。
- ・ 救急車、燃料等必要な物資（緊急車両）の交通は確保した上での対応が重要である。

(2) 個別の意見

1) 価値観の転換

- ・ 価値観の転換は必要だと思うが、そこに甘えがあってはいけない。
- ・ 立ち往生が発生するような状況は平常ではないということ、理解していただく必要がある。社会の意識を変える必要がある。
- ・ 不要不急の外出の考え方も様々なものがある。モラルに関わるものでもある。国や自治体、道路管理者で各界の理解を求めていく必要がある。

2) 情報提供

- ・ 情報の出し方は重要である。代替路の情報も重要。
- ・ 情報提供について、メディアの情報提供が弱い夜間をどうするか考える必要がある。
- ・ 様々な情報を一元的に把握できる仕組みが必要である。

3) 大雪時の対応

- ・ 臨時待機ゾーンのようなテンポラリーな対応も必要である。
- ・ 大規模停留の原因となった車両に対してなんらかの措置が必要である。